

クララザール
じゅうろく音楽堂
特別企画

～ピアノ協奏曲を室内楽で聴く～ モーツァルトピアノ協奏曲 第24番、第26番「戴冠式」

2017年2月4日(土)

17:30 開場 18:00 開演

会場:クララザールじゅうろく音楽堂

50組100名さま
抽選によりご招待
(申込方法は下記をご参照ください)

モーツァルトは27曲のピアノ協奏曲を残しました。そして、ウィーンに居を構えてからの時期に当たる20番以降の作品は特にどれもが傑作として知られています。

そこから4曲を選び、5人の弦楽奏者との「室内楽」で演奏するこの企画。編曲したのはモーツァルトの後の時代1807年生まれのイグナツ・ラハナー。おそらくピアノ協奏曲を家庭やサロンで演奏できるようにというニーズにこたえて出版用に作成されたものでしょう。

しかし、今あらためてこの編曲版に向き合ってみると、少人数で演奏されることにより、名曲のあらたな魅力が浮き彫りになるほか、オーケストラに引けを取らない充実した響きを随所に感じることができます。

プログラム

ディヴェルティメント ヘ長調 K.138

ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491

ピアノ協奏曲第26番 ニ長調 K.537「戴冠式」

※曲目は変更となる場合があります。

申込方法

12月中旬から、十六銀行ホームページ(<http://www.juroku.co.jp>)にて申込受付を開始いたします。

申込締切

2017年1月10日(火)

当選発表

当選通知の発送をもって代えさせていただきます(2017年1月20日(金)までに発送予定)。

お問い合わせ先

公益財団法人 十六地域振興財団 クララザールじゅうろく音楽堂 事務局 TEL:058-266-2552

※就学前のお子さまのご同伴はご遠慮ください。

※お申込みに際し、ホームページにていただきました個人情報は、当イベント実施以外の目的で利用することはありません。

主催:公益財団法人 十六地域振興財団

Member Profile メンバープロフィール



五島 史誉 ピアノ

大垣市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学器楽科卒業。2006年ドイツ・ Folkwang 音楽大学卒業。その後イタリア・イモラ音楽院フォルテピアノ科において研鑽を積む。カッシーナ・デ・ベッキ国際ピアノコンクール第2位。フィリッポ・トレビザーン国際ピアノコンクール第2位。現在、岐阜県立加納高等学校音楽科、岐阜聖徳学園短期大学部、および東海学園大学非常勤講師。2015年に1st アルバム「In der Nacht」、2016年1月に2nd アルバム「Appassionata ～熱情」をリリース。

平光 真彌 ヴァイオリン

各務原市出身。愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院修了。中村桃子賞受賞。青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、E.ダネル、服部芳子の各氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。2012年、小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風音楽賞」及び講師特別賞受賞。愛知室内オーケストラコンサートマスター。愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学非常勤講師。



山崎 えりか ヴァイオリン

桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業後、スイス・ベルン芸術大学音楽科に進学。在学中、ベルン、バーゼルのオーケストラにおいても研鑽を積む。2008年最高位を得て卒業後、ドイツ・ライプツィヒ音楽大学に進学。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のアカデミー生として研鑽を積む。卒業後、契約団員になる。2011年8月に帰国。これまでに藤家桜子、福島紫、長谷川明美、久保田良作、久保良治、バーバラ・ドール、ペーター・ゲアラッハ、アンドレアス・ザイデルの各氏に師事。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団などのエキストラとして活動、名古屋にて後進の指導にも力を注ぐ。

新谷 歌 ヴィオラ

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを村上直子、小谷公子、進藤義武の各氏に師事。第6回日本クラシック音楽コンクール入選。2012年第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクールにおいて第1位、聴衆賞、オーナー賞を獲得。2012年小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風音楽賞」及び講師特別賞を受賞。現在、音楽教室の講師としての教育と室内楽の演奏を中心に活動している。



高橋 弘治 チェロ

桐朋学園大学音楽学部、及び、ブリュッセル王立音楽院古楽器科卒業。2001年から2007年までラ・プティット・バンドのメンバーとしてヨーロッパ各地で演奏活動を行う。帰国後は古楽器、モダン・チェロの両方でオーケストラ、室内楽、ソロの分野で演奏活動を行っているほか、2015年には指揮者として「四日市シンフォニックコーラス」第27回定期演奏会にてヘンデルのオラトリオ『メサイア』全曲を指揮するなど活動の場を広げている。現在、古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』メンバー、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室講師。

酒井 敬彰 コントラバス

2008年、愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。2011年同大学研究生を修了。コントラバスを、奥田一夫、星秀樹、渡邊彰孝、渡辺玲雄各氏に師事。指揮法を外山雄三、栗田博文両氏に指導を受ける。これまでにセントラル愛知交響楽団、愛知県立芸術大学ウインドオーケストラなどを指揮。現在、蒲郡フィルハーモニー管弦楽団トレーナー、岩倉市ジュニアオーケストラ指導者、オーケストラ・クオレ指揮者としても活動している。愛知県立芸術大学非常勤講師。

